

2025/5/26 (月)

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 1 章 1-2 節 (新約聖書 160 頁)

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。

言 (ロゴス)

四月、年度初めの授業だったと思います。ある英和生の名前を呼んだら、同じ名前の英和生が一つのクラスに四人いました。一組は表記もひらがなで同じでした。でも、もちろん一人ひとりまったく別人です。名は体をあらわすとも言いますが、名付けられた意味も違うでしょうし、人格は唯一無二の存在、誰が何と言おうとあなたはあなたです。

実はイエスという名前は英語で **Jesus** ですが、ギリシア語で「イエスース」、遡ると「ヤシャア」です。その意味は「神は救いなり」です。でもイエスはとてもポピュラーな名前でした。何人もイエスはいました。さらに血縁をあらわす「苗字」はまだなかった時代ですから、聖書のイエスはナザレ村で育ったので「ナザレのイエス」と呼ばれていました。

ところがイエスが十字架にかかり三日目に復活した後、あのイエスは待っていた救い主(キリスト、メシア)だと告白する人たちがあらわれ、ナザレのイエスから「イエス・キリスト」になったのです。イエスはキリストという救い主という称号が付いてフルネームのようになりました。そしてイエス・キリストの名によってと祈られるようになったのです。

今日のヨハネはイエスを「言」と表記しています。ギリシア語で「ロゴス」です。当時のギリシア人はロゴスに物事を識別する働きだけでなく、善悪を識別する力もロゴスと呼びました。しかしヨハネはイエスが神の独り子でありながら、人間と同じように悲しみや痛み、祈ったことに神の愛を覚えました。だから日本語でも「言」と表記しています。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、わたしたちはまだ物心がつく前から一人ひとりに名前を与えられました。そしてあなたはわたしたちが何も知らないうちから一人ひとりを英和生に選び、賜物と使命を与え、地の塩、世の光と成長するように導いておられます。どうかあなたが共におられ、生かされ、あなたの御心に適った道を歩む喜びに与らせてください。またどうか近づく体育祭の準備を見守り、祝福してください。そして今、病にある方々を覚えて祈ります。どうかひとときでも早く回復の時を与え、共に感謝を献げる日を迎えることができますようにお守りください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン